

本会議から付託された議案4件を審査するため、令和4年6月20日に産業建設委員会を開催しました。

承認第1号 専決処分の承認を求めることについて（伯備線総社構内溝口踏切拡幅工事委託契約に係る契約金額の変更）

～内容～

委託工事金額の確定に伴うもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で承認すべきであると決定

承認第2号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度総社市一般会計補正予算（第16号））（所管部分）

～内容～

歳入では市税、地方譲与税、地方交付税、寄附金、市債等の確定及び確定見込みに伴うもの。また歳出では基金積立金及び国民宿舎事業費特別会計への繰出金の確定見込みに伴うもの。

～結果～

質疑、討論もなく、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で承認すべきであると決定

承認第3号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算（第3号））

～内容～

歳入では事業収入及び繰入金の確定見込みに伴うもの。また歳出では事業費の確定見込みに伴うもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で承認すべきであると決定

～質疑～

問：現状宿泊予約等は増えてきているのか。

答：新年度に入り、入り込み客数も増えてきている。収益も5月分は出ており、順調に回復基調といえる。

議案第35号 令和4年度総社市一般会計補正予算(第3号)(所管部分)

～内容～

新型コロナウイルス感染症の影響及び物価高騰等に伴う経済対策経費及び、令和4年度観光庁公募事業、地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業に伴う、実施事業者に対する補助金が主なもの

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定

～質疑～

問：観光庁公募事業の地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業とは、具体的にどのような事業か。

答：市内の1900基を超える古墳遺跡群を重要な観光資源と位置付け、自転車散策とまち歩きによる、デジタル技術を活用した音声による仮想体験ツーリズム事業を広告会社と連携して実施する。この事業は、コロナ禍において、接触や密を避けて開催できることに加え、地域事業者や大学生らと連携してモデルルート設計及びルートに沿った独自メニューや地域産品を使った看板商品の開発や磨き上げを行っていく。さらに、モデルルートの中で地域事業者等との出会いの機会を設けることで地域産品消費と関係人口増加につなげていく。